

第1学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 ようすをおもいうかべて、きいたり、うたったり、えんそうしたりしよう
- 教材曲 「おどるこねこ」 ルロイ・アンダソン 作曲
「きらきらぼし」 武鹿悦子 作詞 フランス民謡
「はる なつ あき ふゆ」 三浦真理 作詞・作曲

2 学習指導の考え方

このような子どもたちだから

本学年の子どもたちは、音楽に合わせて手拍子をしたり体を動かしたりすることがとても好きである。これまでに「しろくまのジェンカ」や「みつばちのぼうけん」を通して、音楽に合わせて自由に身体反応したり、いろいろな音の違いに気をつけて聴いたり、歌ったりする楽しさを感じてきている。拍の流れに乗って身体反応する子どもが増えてきたが、音楽が表す様子を思い浮かべ、それに合った身体反応をして聴いたり、歌ったりするまでには至っていない。

このような教材で

○ 鑑賞曲「おどるこねこ」は、子どもたちに身近な動物として親しまれている猫を題材とした描写音楽である。子ねこが登場し、楽しく踊っている様子や、犬の声に驚いて逃げる様子など、様子を思い浮かべやすく、いろいろな場面に合わせて身体表現を工夫しながら聴かせることができる曲である。

○ 歌唱曲「きらきらぼし」は、夜空に輝く星の様子を歌った同型反復の単純な楽曲構成で、子どもたちにとっては幼稚園などでも歌い慣れた曲である。情景を思い浮かべて歌い方の工夫をしたり、器楽を取り入れて、自分たちの選んだ星に合わせて音を探して演奏したりするのに適した教材である。

○ 歌唱曲「はる なつ あき ふゆ」は、各節が四季それぞれの情景を描いており、場面の動きの変化を感じ取ることができる楽曲である。歌詞はそれぞれの季節の生き物や自然の様子をとらえており、子どもたちが場面の様子を想像しやすい。そのため、4つの場面の曲の気分を感じ取り、感じたことと速度や強弱等の音楽を特徴付けている要素と結び付けて歌い方を工夫することに適している。

これらのことから、音楽が表す場面の様子を思い浮かべて曲を聴いたり、歌ったり、演奏したりする学習に適していると考ええる。

このような指導・支援を行いながら

○ **つかむ段階**
様子を思い浮かべながら聴いたり身体表現したりして、楽曲の気分を感じ取らせるために、情景画を提示して場面の様子を想像して聴いたり、主な旋律を口ずさんだりして、子ねこがどんなふうにも踊っているか、曲に合わせて身体表現を工夫させる活動を行う。

○ **深める段階**
様子を思い浮かべて身体表現したり、歌い方や楽器の演奏のしかたを工夫したりするために、「きらきらぼし」や「はる なつ あき ふゆ」では、まず歌詞から想像できることを話し合い、イメージを膨らませる。次に曲の気分合った歌い方や演奏のしかたを工夫させるために、教師が例示を示したり、グループに分かれて聴き合う活動を行ったりする。

○ **味わう段階**
様子を思い浮かべて、イメージを生かしながら表情豊かに歌うために、4つの場面を通して伴奏に合わせて歌う活動や、歌詞をもとに簡単なお話をつくったり、即興的に楽器の音を入れたりする活動を行い、様子を思い浮かべて表現する楽しさを味わうことができるようにする。

このような目標を設定して学習指導を展開します

○ 楽曲の気分を感じ取って想像豊かに聴いたり、歌詞の表す様子を思い浮かべてそれに合った歌い方や演奏のしかたを工夫したりすることができる。

3 学習指導計画（全8時間）

題材	教材曲	つかむ段階	深める段階	味わう段階
		第1次(2)	第2次(5)	第3次(1)
ようすをおもいうかべて聴いたり，歌ったり演奏したりしよう。	「おどるこねこ」			
	「きらきらぼし」			
	「はる なつ あき ふゆ」			

4 (1) 評価と評価計画（題材の展開と題材の評価規準→単位時間ごとの学習計画における評価規準）

	題材の評価規準	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
		音楽に対する興味・関心をもち，進んで音楽活動を楽しもうとする。	楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取り，それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている	範唱や範奏を聴いて演奏したり自分の歌声や発音に気を付けて歌ったり，楽器を演奏したりすることができる	音楽を特徴付けている要素に気をつけながら楽曲の気分を感じ取って聴く。
本題材で取り上げる活動と評価のかかわり	歌唱		○		
	器楽		○	○	
	音楽づくり				
	鑑賞	○	○		○
学習過程	主な学習活動と内容	単位時間ごとの学習における具体的な評価規準			
第1次 つかむ段階 ①	ねらい：様子を思い浮かべながら聴いたり身体表現したりして，楽曲の気分を感じ取る。				
	○ 「おどるこねこ」の曲全体の気分を感じ取って聴く。 ・ 子ねこの様子や動きを想像しながら聴くこと 習得	① 音楽に合わせて体を動かしながら，音楽全体の流れを感じ取る。【鑑賞】（発言，体を使った表現）			
② 本時の 1 の 4	○ 子ねこの様子を思い浮かべて，主な旋律を口ずさんだり，拍の流れを感じ取ったりして聴く。 ・ 主な旋律に着目し，子ねこが踊る3つの場面の様子を想像して聴くこと 習得		① 音楽を聴いて，情景を想像したりイメージを膨らませたりしている。 【鑑賞】（発言，体を使った表現）		① 主な旋律の表す描写的な表現や，その旋律が楽曲の中で繰り返し表れる面白さなどに気付いて聴いている。 【鑑賞】（発言，体を使った表現）

第2次 深める段階① 本時の1の3	ねらい：様子を思い浮かべて身体表現をしたり，歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫したりする。				
	○ 「きらきらぼし」の範唱を聴いて，星が光っている様子を思い浮かべて歌う。 ・ 言葉を丁寧に，歌声に気をつけて歌うこと 習得		② 歌詞の表す情景や気持ちを想像し，話し合いなどからイメージを膨らませ，気持ちを込めて歌っている。 【歌唱】 (発言，聴取)		
	○ 歌に合わせて，リズム伴奏を楽器で演奏する。 ・ すずとトライアングルの正しい奏法を身に付けること 習得 ・ 拍の流れに乗ってリズム打ちをすること 活用	② 身近な打楽器に興味・関心をもち，簡単なリズムを演奏しようとしている。 【器楽】 (観察)		① 拍の流れを感じ取って音の出し方を気をつけながらリズムを打ったり，体を動かして演奏したりしている。 【器楽】 (聴取)	
	○ 「きらきらぼし」の歌の気分に合わせて楽器演奏の仕方を工夫する。 ・ 歌の気分に合わせて演奏の仕方を工夫すること 習得		③ 歌の気分に合わせて，楽器の演奏の仕方を工夫している。 【器楽】 (観察)		
	○ 「はる なつ あき ふゆ」の4つの場面の様子を思い浮かべて歌う。 ・ 4つの場面があることをとらえ，それぞれの様子を思い浮かべて歌うこと 活用		④ 4つの場面の様子を想像しながら歌っている。 【歌唱】 (発言，聴取)		
○ 「はる なつ あき ふゆ」の2番と3番の場面の様子が分かるように歌い方を工夫する。 ・ 2番や3番の様子を表すには強弱や速度を工夫して歌うこと 習得		⑤ 2番と3番の様子が分かるように，強弱や速さを工夫して歌おうとしている。 【歌唱】 (観察，聴取)			
第3次 味わう段階①	ねらい：様子を思い浮かべてイメージを生かしながら表情豊かに歌う。				
	○ 1番から4番までをそれぞれ工夫した歌い方で通して歌う。 ・ 場面を想像して声の強弱や速度を工夫して歌うこと (活用)			② 正しい発音，きれいな発音，はっきりした発音に気づき，心を込めて歌っている。 【歌唱】 (観察)	

(2) 観点別評価の進め方

【音楽への関心・意欲・態度】

学習活動における具体的評価規準		具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
アー①	音楽に合わせて体を動かしながら楽曲全体も気分を感じ取ろうとしている。 【鑑賞】 (発言, 体を使った表現)	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 拍の流れを感じ取って体を動かしたり, 音楽の感じから自由に子ねこの様子を想像して聴いているのを観察したり, 子どもの発言から判断する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 体を使った表現 <input type="checkbox"/> 発言 <input type="checkbox"/> 積極的な行動 音楽を聴きながら積極的に子ねこの動きをしていることや, ねこの様子を音楽とつなげて話すことができることなどからAと判断する。 ● Cと判断される子どもへの支援 情景画を準備し, 場面の様子を想像しながら曲の気分を感じとれるようにする。
アー②	身近な打楽器に興味・関心を持ち, 簡単なリズムを演奏しようとしている。 【器楽】 (観察)	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 楽器の演奏方法に興味をもって, 音を鳴らしてみたり, 歌に合わせて演奏しようとする姿から判断する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> こだわりをもった練習 <input type="checkbox"/> 集中した練習 <input type="checkbox"/> 積極的な行動 繰り返し練習する際に, よい音を出そうとこだわりをもって集中して練習している姿をAと判断する。 ● Cと判断される子どもへの支援 楽器の持ち方や演奏方法など賞賛しながら励まし, 意欲を喚起する。

【音楽的な感受や表現の工夫】

学習活動における具体的評価規準		具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
イー①	音楽を聴いて, 情景を想像したり, イメージを膨らませたりしている。 【鑑賞】 (発言, 体を使った表現)	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 曲を聴いてストーリーを膨らませている発言や, 子ねこになりきって身体反応している姿から判断する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 教師の示した方法を工夫 <input type="checkbox"/> 自分なりの方法での鑑賞 教師が紹介した方法を音楽的に活用し, 自分なりの方法で曲想にふさわしい体の動かし方を工夫している子をAとする。 ● Cと判断される子どもへの支援 本人の傍らに行き, 共に活動することで, 本人の活動を引き出すようにしたい。
イー②	歌詞の表す情景や気持ちを想像し, 話し合いなどからイメージを膨らませ気持ちを込めて歌っている。 【歌唱】 (発言, 聴取)	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 範唱や自分の声をよく聴いて, 滑らかな歌い方をしようとする姿を観察する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 教師の示した歌い方を工夫 <input type="checkbox"/> 曲想にあった歌い方の工夫 星空に呼びかけるように歌おうとする姿をAと判断する。 ● Cと判断される子どもへの支援 本人の傍らに行き, 共に活動することで, 本人の活動を引き出すようにしたい。
イー③	歌の気分に合わせて, 楽器演奏の仕方を工夫している。 【器楽】 (観察)	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 曲想に合った楽器の音を選んだり, 音の出し方を工夫したりする姿を観察する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 効果的な楽器の選択 <input type="checkbox"/> 音楽的なアイディアの提案 星がきらきら光るイメージをもって, 効果的に楽器の音を入れる姿をAとする。 ● Cと判断される子どもへの支援 範唱や教師を参考に, イメージに合った音を選択することができるようにする。

<p>イー④</p>	<p>4つの場面の様子を想像しながら歌っている。 【歌唱】 (観察, 聴取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 歌唱表現の様子や曲想に合った身体表現をしている姿を観察したり歌声を聴いたりして判断する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 効果的な体の動き <input type="checkbox"/> 表情の工夫 <input type="checkbox"/> 曲想にあった歌い方 歌詞に出てくる動物になりきって、曲想に合わせた歌い方をしている姿をAと判断する。 ● Cと判断される子どもへの支援 部分的に取り出して曲想に合った歌い方を聴き比べて本人の意欲を喚起する。
<p>イー⑤</p>	<p>2番と3番の様子が分かるように、強弱や速さを工夫して歌おうとしている。 【歌唱】 (観察, 聴取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 歌唱表現の様子や曲想に合った身体表現をしている姿を観察したり歌声を聴いたりして判断する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 効果的な体の動き <input type="checkbox"/> 表情の工夫 <input type="checkbox"/> 曲想にあった歌い方 2番は大きなくじらだから大きくゆっくり歌う、というように、感じ取ったことをもとに歌い方の工夫をする姿をAとする。 ● Cと判断される子どもへの支援 部分的に取り出して曲想に合った歌い方を聴き比べて本人の意欲を喚起する。

【表現の技能】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>ウー①</p> <p>拍の流れに乗って音の出し方に気をつけながらリズムを打ったり、体を動かしながら演奏したりしている。 【器楽】 (聴取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 歌を歌いながら手拍子や楽器でリズム打ちをしたり、よい響きができる打ち方を工夫したりする活動の様子を観察する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 正しい楽器の持ち方 <input type="checkbox"/> 安定したリズム <input type="checkbox"/> 美しい音色 正しい楽器の奏法で、安定したリズムを叩くことができ、さらに美しい音色を追求している姿をAとする。 ● Cと判断される子どもへの支援 拍の流れに乗って手拍子をする練習や、一緒に楽器を打つ練習をする。
<p>ウー②</p> <p>正しい発音、きれいな発音、はっきりした発音に気付き、心を込めて歌っている。 【歌唱】 (観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 繰り返し練習する姿の観察や1～4番まで通した歌を聴いて判断する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 表情の工夫 <input type="checkbox"/> 美しい歌声の追求 4つの場面のイメージに合った歌い方を工夫して歌う姿をAと判断する。 ● Cと判断される子どもへの支援 4つの場面の情景画を並べて提示し、隣で一緒に歌って活動する。

【鑑賞の能力】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>エー①</p> <p>主な旋律の表す描写的な表現や、その旋律が楽曲の中で繰り返し表れる面白さなどに気付いて聴いている。 【鑑賞】 (発言, 体を使った表現)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 子ねこが踊っている様子を話し合う際の発言や、子ねこになりきって身体表現する活動の様子を観察して判断する。 ● Aと判断するキーワード <input type="checkbox"/> 曲想に合わせた体を使った表現 <input type="checkbox"/> 旋律の特徴についての気づき 曲の中間部分について、旋律が変化するところに気付き、曲想に合わせて体を使った表現ができる姿。 ● Cと判断される子どもへの支援 旋律の変化に合わせた子ねこの絵を提示し、変化を視覚的に捉えさせる。

5 本時 (3/8 つかむ段階) 公開授業① 1年 組教室にて 指導者

6 本時の目標

- 歌詞や旋律から星が光っている様子を思い浮かべて、星によびかけるようにのびやかな声で気持ちを込めて歌うことができ、A-B-Aの曲の形をもとにして、歌詞の表す情景にふさわしい歌い方を工夫して表現することができる。

7 本時の授業仮説

こんな子どもたちに	こんな手だてをとれば	こうなるだろう
<p>本学級の子ども達は、いろいろな曲を歌ったり、曲に合わせて楽器を演奏したりすることが好きである。しかし、歌詞の表す情景や気持ちを豊かに想像したり、表現の仕方工夫したりすることは十分ではない。</p> <p>また、「きらきらぼし」を幼稚園などで歌っている子どももいるがその歌を工夫する方法（強弱・マルカート・レガートなど）を意識して歌うまでには至っていない。</p> <p>「ぶんぶんぶん」でA-B-Aの形式の曲を工夫して歌うことを学習しているが、それを活用するには、教師の支援が必要である。</p> <p>自分の歌声を聴いたり、友だちと聴き比べたりする活動は、経験してきているが、よさを見つけて自分を高めていくというところまでは至っていない</p>	<p>【見通す活動】</p> <p>夜に光る星の話をして、星のイメージをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番星・流れ星・黄色い星・赤い星・大きい星・小さい星・キラキラ光っている <p>拡大背景画の中の子どもは、遠い星に向かって、どんな願いごとをしているかを発言させる。そのことから、なめらかで優しい声で歌うことを意識しながら自分の歌い方の工夫をするようにする。</p> <p>また、A-B-Aの形に気づかせ、同じメロディーを繰り返す時の歌い方を工夫することで、より豊かに表現できるようにしたい。</p> <p>【見直す活動】</p> <p>歌い方の高まりが見られたかどうかを見直すために歌い方を聴き比べさせ、よさを発表し合う場面を設定する。</p>	<p>【見通す活動】</p> <p>いろいろな星があることを知り、キラキラ光るイメージを表すためにはっきりとした発音でのびやかに歌おうとするであろう。</p> <p>星に向かってどんな願いごとをしようとしているかをイメージさせることで、なめらかで優しい声で歌う工夫することに気付き、自分の歌声に気をつけて歌おうとするであろう。</p> <p>強弱をつけることを意識することで星に呼びかける情景を豊かに表現するようになるであろう。</p> <p>【見直す活動】</p> <p>星空への思いを自分達が工夫した方法で表現し、それをお互いに聴き合えば、より高まった表現になっていくであろう。そのことを価値づけることでみんなで歌いながら達成感を感じるであろう。</p>

8 準備

- 教師…拡大背景画、星、拡大歌詞、拡大楽譜、範唱CD、自動伴奏付オルガン
- 子ども…ねがいごとを書いた☆（流れ星）のペープサート

9 板書計画

ようすをおもいうかべてうたおう		
めあて おほしさまに ねがいごととどくような うたいかたをくふうしよう		
きらきらぼし		
一番星・流れ星・キラキラ星・大きい星小さい星 きれいな星・黄色いや赤色の星	拡大背景画 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆	拡大歌詞 (縦書き) 拡大楽譜
<p>おほしさまにねがいごと</p> <p>「ともだちいっぱいできますように」</p> <p>「けーきやさんになりますように」</p> <p>「サッカー選手になりますように」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>きもちをこめて 呼びかけるように優しい声で</p>		

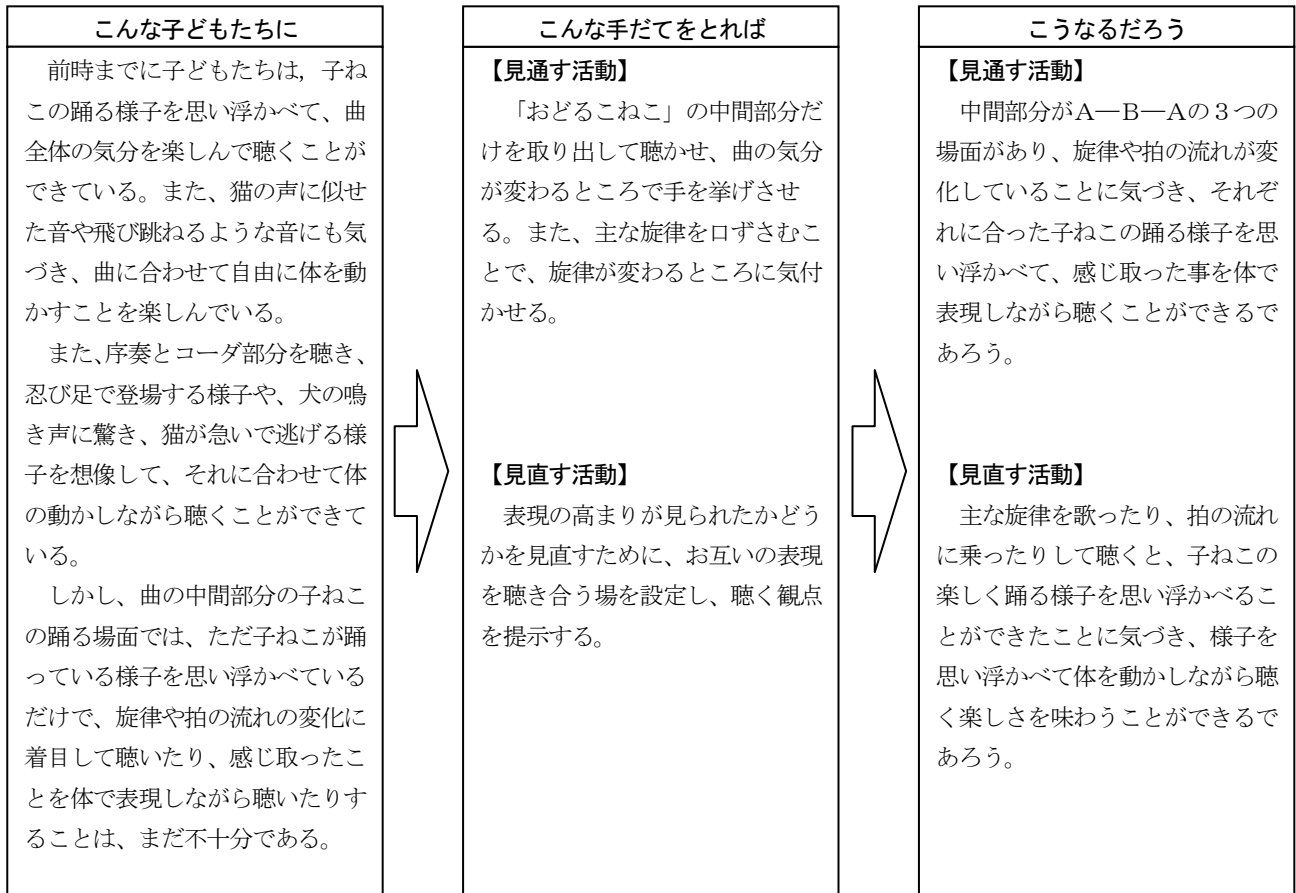
10 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)◆評価規準
<p>1 夜空に光る星の話をして,星のようすを思い浮かべる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一番星・流れ星・大きい星・小さい星・黄色い星・赤い星がある・きらきら光っている・きれいだなあ <p>(1) めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて おほしさまに ねがいがとどくような うたいかたの くふうをしよう。</p> </div> <p>(2) 見通す活動をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拡大背景画に 子ども達が思い浮かべた星を貼っていききらきら光る星のイメージを膨らませる。 ○ 「お星様にねがいをかける子ども達」の話聞かせて範唱CDを聴かせ,いろいろな星のイメージを持てるようにする。 ○ 旋律を正しく歌えるように拡大楽譜と歌詞を提示する。 ○ 自分や友だちの声を聴きながらみんなで歌う。
<p>【見通す活動】</p> <p>範唱CDを聴き、合わせて歌い,遠い星に向かってどんな願いをしているのか話し合う。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-right: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちがいっぱいできますように ・ 100点とれますように ・ 野球選手になれますように </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; border: 1px solid black; padding: 5px;"> きもちをこめて よびかけるように </div> </div> <p>どんな歌い方をしたらいいかを話し合う。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>歌詞の表す情景や気持ちを想像したり,楽曲の気分を感じ取ったりし,思いをもって歌うこと</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの発言を吹き出しにして,背景画に貼っていくことで,めあてをはっきりさせる。 ★ 教師の範唱を聴かせ,どちらの歌い方がいいかを感じ取らせる。(乱暴な歌い方となめらかな歌い方)
<p>2 歌い方を工夫する。</p> <p>(1) 歌詞を読んで,もっと願いがとどくように歌い方の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「きらきらひかる～」は同じメロディーが2回ある。 ……A ・ 「まばたきしては みんなをみてる」 はちがうメロディー ……B ・ Aを遠くにとどくように歌う。 ・ B は,さらに願いを込めて優しく歌うためにくりかえしのメロディーの工夫をする。 <p>(2) 見直す活動をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉に目を付けさせるために拡大歌詞を音読させる。 ○ 歌詞をA(ピンク)B(水色)と色分けをして,三つに分かれていることに気づかせる。 ○ Aの部分 体を動かしながら伸びやかに歌えるようにする。 ○ Bの部分 繰り返しのメロディーをどのように歌うかを工夫できるように教師の範唱を聴き比べ,歌ってみる。
<p>【見直す活動】</p> <p>友だちの歌い方を聴き,よいところを発表する。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-right: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 星に優しく呼びかけるように歌っています。 ・ きらきら光っているように口を大きく開けてはっきりと歌っています。 ・ 星によびかけるように手を動かして歌っています。 </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ★ 願いがとどくように歌えたかを確かめるためにAグループとBチームに分かれてお互いが聴き合う場を設定する。 ☆ 歌い方の高まりが見られたかを聴き合い,友だちのよさを発表し合う場面を設定する。 ☆ 聴き方の視点(めあて)を提示して聴かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気持ちをこめてねがいがとどくように優しい声で歌えているか。 ・ B部分のメロディーのくりかえしを工夫してうたえているか。 </div> <p>◆ 星空のようすを思い浮かべながら言葉や歌声に気をつけて歌っている。(イー②)</p>
<p>3 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の声につけながら伴奏にあわせて1番と2番をみんなで歌う。 ○ 次時の学習を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 星のイメージにあった楽器をいれて歌うことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 星に呼びかけるように子ども達が工夫をして歌えたことを誉め達成感を味わわせる。 ○ めあてが達成できたらペープサートの☆を黄色から金色にかえるようにして自己評価をさせる。 ○ 次時は,もっときらきら光る星にするために楽器を入れて演奏を加えることを知らせ意欲付けをする。

6 本時の目標

- 主な旋律を口ずさんだり、拍の流れを感じ取って体を動かしたりしながら、3つの場面の踊る子ねこの様子を思い浮かべて聴くことができる。

7 本時の授業仮説



8 準備

- 教師・・・CDデッキ、情景画、場面の絵、序奏・A・B・コーダの部分のMD、主な旋律の歌詞
- 子ども・・・子ねこのお面

9 板書計画



ようすをおもいうかべて、きいたり、うたったり、えんそうしたりしよう

「おどるこねこ」

めあて こねこがおどっているようすをおもいうかべてきこう。

<p>情景画</p>	<p>おどっている絵</p>	<p>おどっている絵</p>	<p>おどっている絵</p>	<p>よいところを見つけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まんなかのところがとびはねているかんじのおどりになっているか。 ○ きよくがかわるところでおどりがかわったか。
<p>はじめ → なか → おわり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とちゅうでおどりがかわる ・ おどりがかわったあと、またははじめのかんじにもどった 	<p>やさしく ゆれなが らおどっ ている</p>	<p>たのしく とびはね ておどっ ている</p>	<p>やさしく ゆれなが らおどっ ている</p>	
		<p>はやくなった おとがたかくなった</p>		

10 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)
<p>1 前時の学習を想起し、本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 前時学習の想起</p> <p>○ 曲全体は、はじめ(序奏)、なか(A-B-A)、終わり(コーダ)の3つの部分があり、それぞれの子ねこの様子を想像したことを思い出して聴く。</p> <p>(2) 本時学習の目当てをつかむ。</p> <div data-bbox="264 555 1283 640" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて こねこがどんなふうにおどっているのかおもいうかべてきこう。</p> </div> <p>(3) 見通す活動をする。</p> <div data-bbox="175 680 775 976" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>【見通す活動】 中間部を聴き、3つの場面があることをとらえる。</p> <div data-bbox="204 810 746 954" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> ・途中で踊りが変わる感じがするなあ。 ・途中で感じが変わるけど、また途中でははじめの感じに戻るよ。 </div> </div> <p>2 3つの場面やその移り変わりをとらえて聴き、踊る子ねこの様子を想像しながら聴く。</p> <p>(1) 曲想から3つの場面の子ねこの様子を想像する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div data-bbox="188 1124 367 1303" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>A やさしく 揺れなが ら踊っ ている</p> </div> <div data-bbox="418 1124 555 1303" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>B 楽しく飛 び跳ねな がら踊っ ている</p> </div> <div data-bbox="606 1124 743 1303" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>A やさしく 揺れなが ら踊っ ている</p> </div> </div> <p>(2) 3つの場面の移り変わりをとらえて聴く。</p> <p>(3) 見直す活動をする。</p> <div data-bbox="175 1518 775 1845" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>【見直す活動】 2つのグループに分かれて互いの表現を聴き合い、よいところを発表する。</p> <div data-bbox="204 1653 746 1818" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> ・最初はやさしく揺れるかんじで踊っていたけど、途中は元気に楽しそうな踊りに変わって、曲に合っていてよかった。 </div> </div> <p>3 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 曲に合った子ねこの踊る様子を思い浮かべて体を動かしながら聴く。</p>	<p>○ 曲全体の流れがわかるように、はじめ(序奏)、なか(A-B-A)、終わり(コーダ)の絵を提示しておく。</p> <div data-bbox="826 645 1423 797" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>主な旋律を聴いたり、拍の流れを感じ取ったりして、音楽を特徴づけている要素や音楽の構成を感じ取って聴くことができる。</p> </div> <p>★ 曲想が変わるところで手を挙げさせ、3つの場面があることをとらえさせる。</p> <p>★ 3つの場面で構成されていることをはっきりとつかませるために、主な旋律を口ずさませる。</p> <p>○ AとBの部分の曲想の違いを視覚的にとらえさせるために、板書に絵を提示する。</p> <p>○ 2人組で揺れながら踊っている子や、「ピョン」という擬態語に合わせてジャンプしている子など、AとBの曲想の違いをとらえて表現できている子の動きを取り上げ、全体で考えられるようにする。また、なぜそのような動きにしたのか問いかけ、音楽を特徴づけている要素に結びつける。</p> <p>◆ 音楽を聴いて、情景を想像したりイメージを膨らませたりしている。(ウー①)</p> <p>○ A-B-Aの3つの場面があることを理解したのち、さらに表現を豊かにするために自分で作ったお面を付けて活動させる。</p> <div data-bbox="826 1518 1423 1845" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>【見直す活動】</p> <p>○ 3つの場面に合った子ねこの様子を思い浮かべて聴くことができているか確かめるためにお互いが聴き合う場を設定する。</p> <p>☆ 聴き方の視点を提示して聴かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bの所が飛び跳ねている感じの踊りに変わったか。 ・踊りがA-B-Aの形になっているか。 </div> <p>◆ 3つの場面に合った身体表現をしようとしている。(イー①)</p> <p>○ 3つの場面に合わせて体を動かしながら聴くことができたことを賞賛する。また、みんなで一緒に表現することで、より聴く楽しさを味わわせる。</p>